

- 問1 埼玉県の稲荷山古墳から出土した鉄剣には、当時のヤマト政権（ヤマト王権）の支配者の呼び名が刻まれています。この鉄剣の銘文に見られる、当時の最高権力者の称号として正しいものを選びなさい。（2016年 高知県公立入試 類似）
1. 関白                                      2. 大王                                      3. 天皇                                      4. 皇帝
- 問2 古代日本における漢字の伝来とその影響について述べた説明として、最も適切なものはどれですか。大陸から移住してきた人々の活動や、宗教的な背景を踏まえて選びなさい。（2026年 神奈川県公立入試 類似）
1. 平安時代の貴族が、仏教の教えを分かりやすく書き換えるために、漢字をもとにして日本で初めて文字を作成した。
2. 渡来人が仏教の經典とともに漢字を伝え、日本人が公的な記録や情報の伝達を行う手段として定着した。
3. 聖徳太子が大陸へ渡った際、現地で使われていた文字を日本独自の文字として持ち帰り、仏教の布教に用いた。
4. 縄文時代の交易を通じて大陸の文字が広まり、その後、仏教を理解するための補助的な記号として漢字が発明された。
- 問3 4世紀から6世紀ごろにかけて、朝鮮半島や中国大陸から日本列島へ移り住み、当時の日本に欠けていた高度な技術や文化を伝えた人々を何と呼びますか。（2023年 新潟県公立入試 類似）
1. 渡来人                                      2. 御家人                                      3. 遣隋使                                      4. 防人
- 問4 古墳時代、朝鮮半島や中国から日本列島へ移り住んだ渡来人によって伝えられたもので、日本における記録や公文書作成の基礎となった文字を次の中から選びなさい。（2019年 岡山県公立入試 類似）
1. 漢字                                      2. カタカナ                                      3. ひらがな                                      4. ローマ字
- 問5 古墳時代から飛鳥時代にかけて、大陸からの渡来人が伝えた新しい技術によって製作されるようになった「須恵器」について、その特徴や背景を説明したものとして最も適切なものを選びてください。（2023年 愛媛県公立入試 類似）
1. 宋から輸入された銅銭を溶かし、金属加工の技術を応用して作られた器である。
2. 野焼きという古い技法で焼成された、赤褐色で厚手の土器である。
3. 備中鍬や千歯扱きといった農具とともに、江戸時代の農業発展を支えるために開発された。
4. 穴窯（あながま）を用いて高温で焼成された、硬質で灰色の土器である。
- 問6 近畿地方を中心に現れた、一方が四角形で他方が円形をした鍵穴のような形の古墳が、時代とともに全国各地（東北部から九州）へと広がっていった事実は、当時の政治状況についてどのようなことを示していますか。（2021年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 大陸から渡来した人々が、日本各地に共通の墓制を直接伝えたこと
2. 稲作の技術が全国に普及し、各地の農民が協力して巨大な墓を造ったこと
3. 仏教の教えが各地に広まり、新しい埋葬の形式が全国で統一されたこと
4. 大和政権（ヤマト王権）の勢力や政治的な影響力が、地方にまで拡大したこと
- 問7 埼玉県にある稲荷山古墳から出土した鉄剣には「獲加多支鹵大王」という称号が刻まれています。これと同様の称号が記された鉄刀が熊本県の江田船山古墳からも出土していることから推測できる、5世紀後半の日本の政治状況として最も適切な説明を選んでください。（2021年 大阪府公立入試 類似）
1. 各地域の豪族が独自の王号を名乗り、中国の王朝と直接外交を行っていた。
2. 大和政権（ヤマト王権）の支配力が、関東から九州におよぶ広い範囲に広がっていた。
3. 東北地方から九州地方まで、完全に統一された律令国家が成立していた。
4. 邪馬台国の卑弥呼による統治が、近畿地方を中心に安定していた。
- 問8 4世紀から7世紀頃にかけて、朝鮮半島や中国大陸から日本列島へ移住し、漢字や儒教、仏教などの大陸文化や、優れた製作技術を伝えた人々を何と呼びますか。（2021年 島根県公立入試 類似）
1. 遣隋使                                      2. 御家人                                      3. 渡来人                                      4. 防人
- 問9 古墳時代に築かれた、円形と方形を組み合わせた鍵穴のような形状を持つ巨大な墓について、その名称と当時の状況を正しく述べたものはどれですか。（2026年 沖縄県公立入試 類似）
1. 名称は円墳であり、大和地方から移住した渡来人たちが、故郷の風景を再現するために全国に広めた。
2. 名称は方墳であり、ヤマト王権が全国の土地を直接支配するために、各地の役所の目印として設置した。
3. 名称は前方後円墳であり、ヤマト王権の勢力が及んだ東北地方から九州地方にかけての広い範囲で見られる。
4. 名称は装飾古墳であり、ヤマト王権から独立した九州地方の豪族のみが、独自の文化を示すために築いた。
- 問10 5世紀頃、ヤマト政権の王が中国の南朝へ使いを送った主な目的として、最も適切な説明はどれか。（2020年 鳥取県公立入試 類似）
1. 白村江の戦いで敗れた後、唐との国交を回復し、大陸の最新文化や技術を積極的に導入するため
2. 魏の皇帝から「親魏倭王」の称号と金印を授かり、国内の豪族に対して自らの正当性を示すため
3. 朝鮮半島南部における軍事的な指揮権の承認を得て、武器や農具の原料となる鉄資源を安定的に確保するため
4. 中国の進んだ律令制度を学び、仏教を公認することで、天皇を中心とした中央集権体制を確立するため
- 問11 古墳時代の日本において、朝鮮半島から伝えられた技術によって作られるようになった、高温で焼成される灰色の硬い土器を何と言いますか。（2023年 新潟県公立入試 類似）
1. 須恵器                                      2. 埴輪                                      3. 縄文土器                                      4. 弥生土器
- 問12 4世紀から7世紀頃にかけて、朝鮮半島や中国大陸から日本列島へ移住し、鉄器の製作、須恵器の生産、さらには漢字や仏教などの高度な技術や文化を伝えた人々を何と呼ぶか、最も適切なものを選びなさい。（2017年 徳島県公立入試 類似）
1. 防人                                      2. 遣唐使                                      3. 弥生人                                      4. 渡来人
- 問13 古墳時代中期（5世紀）の日本において、近畿地方に巨大な前方後円墳が相次いで作られた一方で、熊本県や埼玉県という離れた地域から同一の大王名が刻まれた鉄剣が発見されている理由として最も適切なものを、次の選択肢の中から1つ選びなさい。（2025年 宮崎県公立入試 類似）
1. 九州地方の邪馬台国が全国の首長を従えて巨大な墳墓を各地に建造させたから
2. 中国の皇帝から与えられた鉄剣を全国の首長が共有して保持していたから
3. 近畿地方を本拠地とするヤマト王権が地方の首長と結びつき、支配勢力を広範囲に拡大させたから
4. 地方の首長たちが独自に近畿地方の技術を模倣し、政治的影響力を強めたから